

友愛こうら

第84号 発行：甲良町老人クラブ連合会
水と緑に恵まれた、歴史豊かな、この郷土を愛し、
たがいに友情の手で結ばれた老人クラブをめざそう

平成30年度

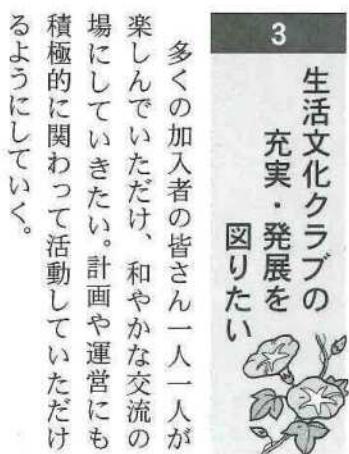
甲良町老人クラブ連合会重点事業等の取り組みについて

甲良町老人クラブ連合会 副会長 田 中 重 弘

例年には異常な気候のなか夏がきました。今年度も、はや四ヶ月が過ぎました。それぞれの字での行事をはじめ連合会の活動に、理事会で協議・決定していただいた活動方針や重点事項にそつて取り組んでいただいていることだと思います。

甲良町老人クラブでは、会員様が、主体的・積極的な参画意識を高めていくような事業の構想や展開をしていき、クラブへの所属意識と存在感を感じていただけようにしていきたいと考え取り組んでいます。そして、みんなで老人クラブをつくり、ひいては豊かな高齢者社会をめざしていくとしています。

グラウンドゴルフ大会も親睦旅行も、さらに生活文化クラブ活動にも昨年を上回る参加者を得て、大変喜んでいます。この活力をしつかりとこれから的重要事業に反映させていきたいと考えています。理事会や女性委員会では詳しく説明させていただきましたが、もう一度本年度の重点事業について会員の皆様おひとりおひとりにご理解とご尽力をお願いし、老人クラブ・高齢者の地域づくりをしていきたいと思います。



2 友愛活動を基盤にした相互支援や生活支援の具体化（高齢者相互の今日的課題）

担当者を中心に行なった会員一人一人の実態を共通理解することから始め、お助け（支援）しなければならない人への働き掛けをできることは隣のよしみとしていく相互支援を大事にしたい。

1 組織の充実をめざすリーダーとなる会員さんの研修を推しめる

本年度から理事研修を連合会役員である女性委員さんも参加して役員先進地交流研修会に拡充し、リーダー意識と活動の向上に資していただきたい。

その中で、部会組織やその具体的運営について学び、理事の用務の精査・軽減なども考え、ゆとりある取り組みを構想したい。

4 健康づくり事業としてニュースポーツの大会を、多くの出場者で行う。

老大シルバースポーツ大会の競技内容として位置づけ、スポーツ大会参加者全員に出場していただき、楽しんでいただき。そのため競技種目『スカイクロス』の周知に単位クラブで努めていただきたい。

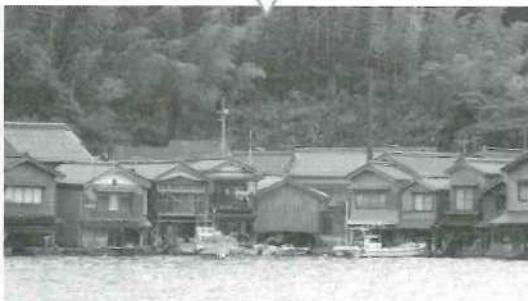


多くの加入者の皆さん一人一人が楽しんでいただけ、和やかな交流の場にしていきたい。計画や運営にも積極的に関わって活動していただけます。十一月十二日（月）です。役員全員のご参加をお願いします。

本町老ク連が運営準備をして開催します。十一月十二日（月）です。役員全員のご参加をお願いします。

旅の第二日目
唯一つの漁村
伝統的建造物群の伊根町

家に海が入っている家やなあ。昔、家に川戸があつたが、家に海が入っている家が並んでいるのも珍しいなあ。海が荒れたら大変やろうなあ



★伊根湾めぐりでカモメと戯れながら、舟屋を見て、Mさんがつぶやかれました。

こうした声はその場・地に行って、からだで感じ心に響いて、自然とでてくるものであると思います。こんな声、気持ちがほんのちょっと自分を心豊かにしてくれると思います。そんなことを願って今年も親睦旅行が始まりました。

旅の第一日目
但馬の小京都
城下町“出石町”

『なんか、しつとりしますね。
子どもの頃の町を歩いているみたい』



★出石町の芝居小屋『永楽館』を出て、駐車場に向かっている時、K氏が、つぶやかれました。

平成三十年度 甲良町老々連親睦旅行
期日 平成30年6月7日(木)～8日(金)
参加者 75名

旅の第一日

《6月7日(木)》

味わう。
②そばとつゆだけで、麺を味わう。

まわる姿を想像して、楽しくなりました。



③葉味として葱・山葵で、さっぱりといつた美味しさを味わう。
④山芋・卵で、違った美味しさを味わう。



その① ⑤そば湯で締めて、「こちらそうさま」で、落語「ユーツクな説明とバツクヤード見学は、いいね」
（近畿最古の芝居小屋『永楽館』）

その② 薩摩の量が少なく、もう少し暑いくらいの日になりました。
お食事後は、出石の町並みをぶらぶら歩き、「永楽館」へと移動しました。お陽さまが照りつけ、方もおられました。

その③ ⑥そば湯で締めて、「こちらそうさま」で、落語「ユーツクな説明とバツクヤード見学は、いいね」
（近畿最古の芝居小屋『永楽館』）

その④ ⑦豊岡は鞆やけど、なかなかマイバックでもつくれるとよいのだがと思いながら、自分が褒美のお土産として購入されている方も多くおられました。アンケートの評価には大変幅がありました。

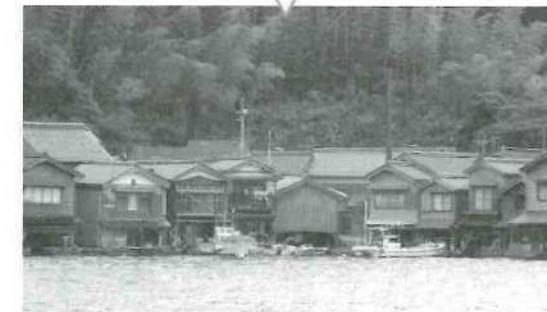
その⑤ そして、16時には、一流ホテルといわれている日和山温泉金波楼に到着。早速、玄関前で日本海を背に記念撮影。

その⑥ ⑧マイバックでもつくれるとよいのだがと思いながら、自分が褒美のお土産として購入されている方も多くおられました。アンケートの評価には大変幅がありました。

その⑦ ⑨豊岡は鞆やけど、なかなかマイバックでもつくれるとよいのだがと思いながら、自分が褒美のお土産として購入されている方も多くおられました。アンケートの評価には大変幅がありました。

その⑧ ⑩マイバックでもつくれるとよいのだがと思いながら、自分が褒美のお土産として購入されている方も多くおられました。アンケートの評価には大変幅がありました。

その⑨ ⑪マイバックでもつくれるとよいのだがと思いながら、自分が褒美のお土産として購入されている方も多くおられました。アンケートの評価には大変幅がありました。



その⑩ ⑫マイバックでもつくれるとよいのだがと思いながら、自分が褒美のお土産として購入されている方も多くおられました。アンケートの評価には大変幅がありました。

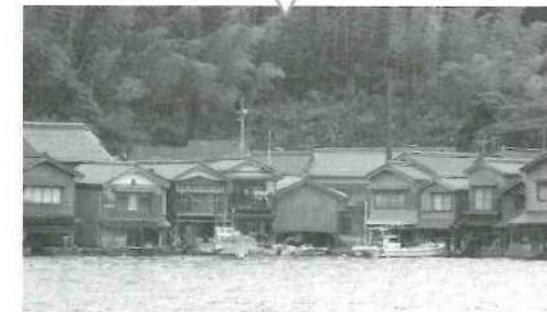
その⑪ ⑬マイバックでもつくれるとよいのだがと思いながら、自分が褒美のお土産として購入されている方も多くおられました。アンケートの評価には大変幅がありました。

その⑫ ⑭マイバックでもつくれるとよいのだがと思いながら、自分が褒美のお土産として購入されている方も多くおられました。アンケートの評価には大変幅がありました。

その⑬ ⑮マイバックでもつくれるとよいのだがと思いながら、自分が褒美のお土産として購入されている方も多くおられました。アンケートの評価には大変幅がありました。

その⑭ ⑯マイバックでもつくれるとよいのだがと思いながら、自分が褒美のお土産として購入されている方も多くおられました。アンケートの評価には大変幅がありました。

その⑮ ⑰マイバックでもつくれるとよいのだがと思いながら、自分が褒美のお土産として購入されている方も多くおられました。アンケートの評価には大変幅がありました。



その⑯ ⑱マイバックでもつくれるとよいのだがと思いながら、自分が褒美のお土産として購入されている方も多くおられました。アンケートの評価には大変幅がありました。

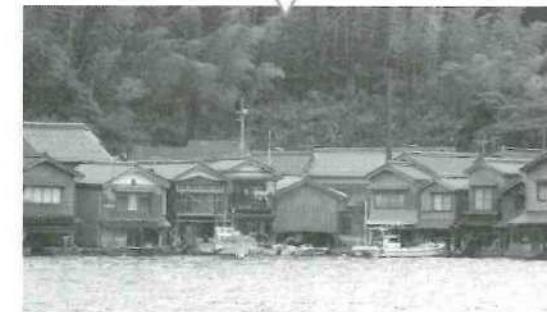
その⑰ ⑲マイバックでもつくれるとよいのだがと思いながら、自分が褒美のお土産として購入されている方も多くおられました。アンケートの評価には大変幅がありました。

その⑱ ⑳マイバックでもつくれるとよいのだがと思いながら、自分が褒美のお土産として購入されている方も多くおられました。アンケートの評価には大変幅がありました。

その⑲ ㉑マイバックでもつくれるとよいのだがと思いながら、自分が褒美のお土産として購入されている方も多くおられました。アンケートの評価には大変幅がありました。

その⑳ ㉒マイバックでもつくれるとよいのだがと思いながら、自分が褒美のお土産として購入されている方も多くおられました。アンケートの評価には大変幅がありました。

その㉑ ㉓マイバックでもつくれるとよいのだがと思いながら、自分が褒美のお土産として購入されている方も多くおられました。アンケートの評価には大変幅がありました。



その㉒ ㉔マイバックでもつくれるとよいのだがと思いながら、自分が褒美のお土産として購入されている方も多くおられました。アンケートの評価には大変幅がありました。

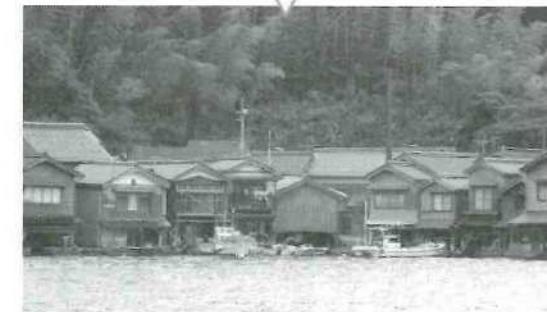
その㉓ ㉕マイバックでもつくれるとよいのだがと思いながら、自分が褒美のお土産として購入されている方も多くおられました。アンケートの評価には大変幅がありました。

その㉔ ㉖マイバックでもつくれるとよいのだがと思いながら、自分が褒美のお土産として購入されている方も多くおられました。アンケートの評価には大変幅がありました。

その㉕ ㉗マイバックでもつくれるとよいのだがと思いながら、自分が褒美のお土産として購入されている方も多くおられました。アンケートの評価には大変幅がありました。

その㉖ ㉘マイバックでもつくれるとよいのだがと思いながら、自分が褒美のお土産として購入されている方も多くおられました。アンケートの評価には大変幅がありました。

その㉗ ㉙マイバックでもつくれるとよいのだがと思いながら、自分が褒美のお土産として購入されている方も多くおられました。アンケートの評価には大変幅がありました。



その㉘ ㉚マイバックでもつくれるとよいのだがと思いながら、自分が褒美のお土産として購入されている方も多くおられました。アンケートの評価には大変幅がありました。

その㉙ ㉛マイバックでもつくれるとよいのだがと思いながら、自分が褒美のお土産として購入されている方も多くおられました。アンケートの評価には大変幅がありました。

その㉚ ㉜マイバックでもつくれるとよいのだがと思いながら、自分が褒美のお土産として購入されている方も多くおられました。アンケートの評価には大変幅がありました。

その㉛ ㉝マイバックでもつくれるとよいのだがと思いながら、自分が褒美のお土産として購入されている方も多くおられました。アンケートの評価には大変幅がありました。

その㉜ ㉞マイバックでもつくれるとよいのだがと思いながら、自分が褒美のお土産として購入されている方も多くおられました。アンケートの評価には大変幅がありました。



天風呂は、波音や海風を心地よく感じます。ほつこりし、ゆつたりと癒されました。そしてほんのりと明かりが灯るころ合いを見はからい、大宴会へご案内となりました。

《お風呂は勿論 どの部屋からもこんな景色が》

旅の第一日

《6月8日(金)》

旅の二日目も、日本海から上
がるまぶしいばかりのお陽さ
まで目覚めました。

三五の時間も大きく不
バ一しましたが、恒例の江州音
頭総踊りを楽しみ、奥山副会長
のお開きのご挨拶で、宴を閉じ
ることができました。お疲れさ
までした。

様の音頭で乾杯。大宴会が始まりました。

しかし皆
さんしつか
りとお参り
もし、お寺で
のお土産も

『ご住職の法話は、『しあわせ』『笑談』といい、おもしろくてつまらなくない』トレスも解消、本堂は笑い声が響きました。話を聴いているうちに、生きる勇気がわいてくるというのですが、人によりいろいろな考え方もあり、アンケートでも大変幅のあるお答えでした。

て、連日バスが乗り付け、年間二万人が訪れるということですから突然の訪問もあることかもしませんが、待たされいるという感も強く、とっても残念なことでした。

法話の寺 “遍照寺”

3分。お賽銭のおひねりもつくり、参拝の準備もしました。バスは本堂の前まで入って行きました。

伊根湾を巡る約30分の舟屋見学は、カモメやトンビへのえさやりに夢中になりました。

漁村での唯一つの重要な伝統的建造物保存群になっています。一階に舟揚場があり、出漁の準備、漁具の手入れなどの作業場、魚干物の乾場や農産物の置き場等と幅広く活用されているということです。二階が生活の場、客室、民宿等に活用され

その①
伊根の舟屋は
海が玄関（あもて）よ
通りは裏口（うらぐち）よ
『伊根の舟屋めぐり』

その6
日本三景の天橋立を
望みながらのご昼食

しかし、お土産やお買物めあてに立ち寄るところは、男性に

もと来た道を天橋立まで戻り、鮮魚店でのお買物となりました。バス内からも、ビックリするほど大きくてユニークな看板が目を引きつけました。鮮魚・干物、なかでもサバの桜干しに人気が集中し、いろいろな試食も思う存分し、お土産でバスのトランクが詰まりました。ちよつと値段がはるなあと思いましたが、一つ一つの品物にかける社長はじめ社員さんの熱意というもののすごさを感じました。

雨があたりはじめ、船室に入つてからは、じつくり見るともできましたが、もう少し近くまで行つて見たかつたと思います。しかし、ご当地のよさを集落全体でつくりあげていかれたすごさを感じずにはいられませんでした。



